【目次】

◇第 1 章　はじめに

●このソフトで何ができるのか？

当ソフト、問題データベースでは、現代文、古文 / 漢文合わせて約 800 問（センター・国公立・私立）の大学入試問題からデータを検索し、問題を作成することができます。

●箱の中身の確認

（現代文）

・現代文問題データベース CD-ROM…1 枚

・取り扱い説明書（本書）…1 冊

・ユーザー登録用紙…1 枚

（古文 / 漢文）

・古文 / 漢文問題データベース CD-ROM…1 枚

・取り扱い説明書（本書）…1 冊

・ユーザー登録用紙…1 枚

●製品の概要

■豊富な問題

現代文、古文 / 漢文合わせて約 800 問の大学入試問題からデータを検索して頂けます。

■シンプルなインターフェイス

余分な作業手順は省き、パソコンに触れる機会が少ない方でも最小限の操作ステップで問題を検索して頂けます。

■フル編集サポート

全ての問題は、ワープロソフト上で自在に編集出来るデータ形式を採用しています。

■ファイル出力機能

お使いのパソコンにワープロソフトがインストールされていない場合でも、検索した問題をリッチテキストファイル（rtf）形式で出力し、他のパソコンやアプリケーションでご利用頂けます。（一部記号や書式は再現されません。）

※問題データベース CD-ROM の旧製品をインストールしているフォルダに新製品をインストールしないようにしてください。

同一フォルダにインストールしますと、旧製品が使用できなくなります。

もし、同一フォルダにインストールされた場合は、新製品を一度アンインストールし、旧製品⇒新製品の手順で再度インストールし直してください。

●免責事項

本書の内容に関しては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点があれば、明治書院（以下「小社」という）までお問い合わせください。

①お客様は、本製品について、以下の事項を了承するものとします。

(a) 本製品に収録される情報（問題）は各大学の入学試験で出題されたものであり、各設問の妥当性について小社は責を負わないこと。

(b) 本製品に収録される情報（問題）には実際の出題とは異なる表記や修正を加えている場合があり、オリジナルとの完全な一致を保証するものではないこと。

②本製品の提供する情報に不備があった場合などは、 訂正情報の提供などにより対応することとし、製品の交換には応じません。

③小社は本製品に疵や汚れ、破損があった場合には、お客様の本製品購入後 90 日以内に限り、本製品の良品との交換を行うものとします。ただし、交換時期、交換方法等は小社の判断に基づくものとします。

④本製品に関する小社のお客様に対する損害賠償責任は、故意または重過失による場合を除き、直接的かつ通常の損害の賠償に限られ、また、本製品の標準価格を限度とします。本項は、本製品に関する小社のお客様に対する損害賠償責任の全てを規定したものとします。

⑤本製品に収録される問題に引用されている作品の著作権は各著作権者に帰属します。

⑥本製品プログラムおよび電子化データの著作権は小社に帰属します。

⑦小社はお客様に対し、本取扱説明書に従い、お客様自身が使用するパソコン１台に限り、本製品をインストールする権利を許諾します。また、非営利目的に限り、本製品から抽出・加工したデータを使用・配布する権利を許諾します。

⑧お客様は本製品について以下の行為をすることはできません。

(a) 本使用規定に明示的に許諾される場合を除き、複製、改変、解析、送信すること、ネットワーク等により同時に２台以上の機器で使用することおよびその他の使用または利用をすること。

(b) 第三者に上記(a)の行為を許可することおよび有償で譲渡または貸与すること。

⑨本使用規定に定めのない事項については、著作権法および関連法規に従うものとします。

◇第２章　このソフトを使用するための準備

＜誰もが必要な準備 ＞

●ステップ１　ソフトが使用できるまでの流れ

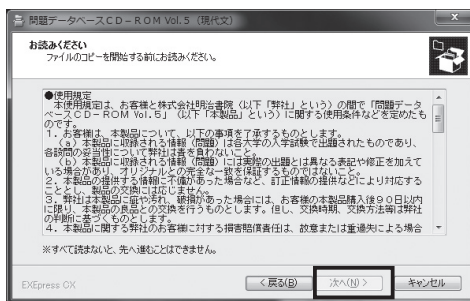
●ステップ２　ソフトを使用いただけるパソコン環境

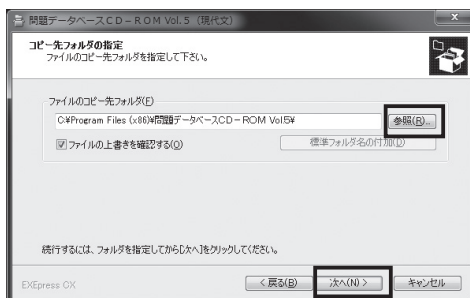
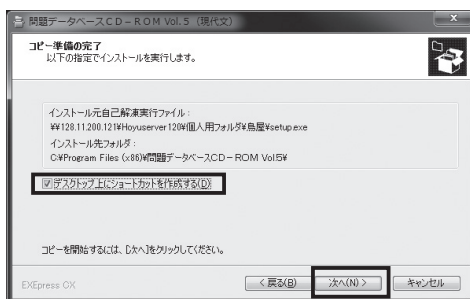
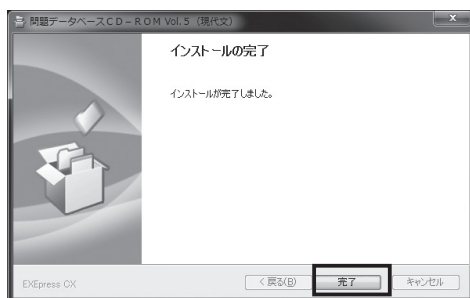
■ＯＳ：Microsoft Windows Vista 日本語版…Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（32/64bit）
Microsoft Windows 7 日本語版…Home Basic/Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate（32/64bit）
Microsoft Windows 8 日本語版…（無印）/Pro/Enterprise（32/64bit）
■ＣＰＵ：対応 OS が推奨する環境以上
■メモリ：対応 OS が推奨する環境以上
■ジャストシステム一太郎：2011 ～ 2013
■ Microsoft Word：2007 ～ 2013
■ドライブ：CD-ROM ドライブ、又は DVD-ROM ドライブ
■マウス
■ハードディスク：
（現代文）300MB 以上の空き容量
（古文）300MB 以上の空き容量
（漢文）300MB 以上の空き容量

●ステップ３　ソフトの導入（インストール）を行う

1．CD-ROM を開き､インストーラー（※）をダブルクリックし､｢次へ｣ ボタンをクリックします。

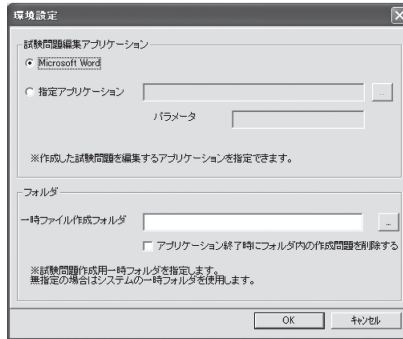
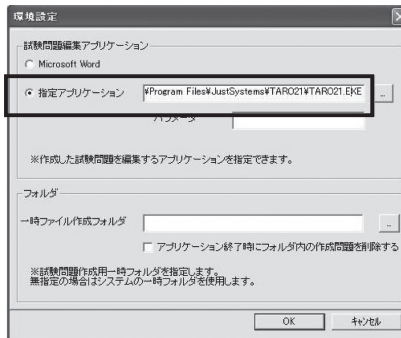
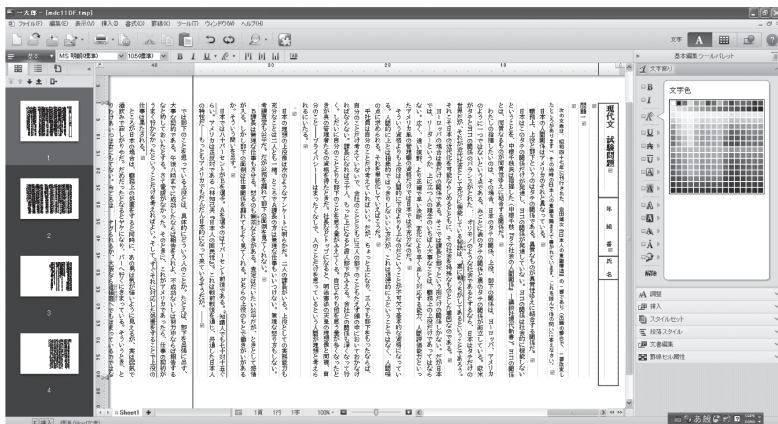
※…CD-ROM 内、現代文（setup.exe)、古文（KobunInstall.exe)、漢文（KanbunInstall.exe）

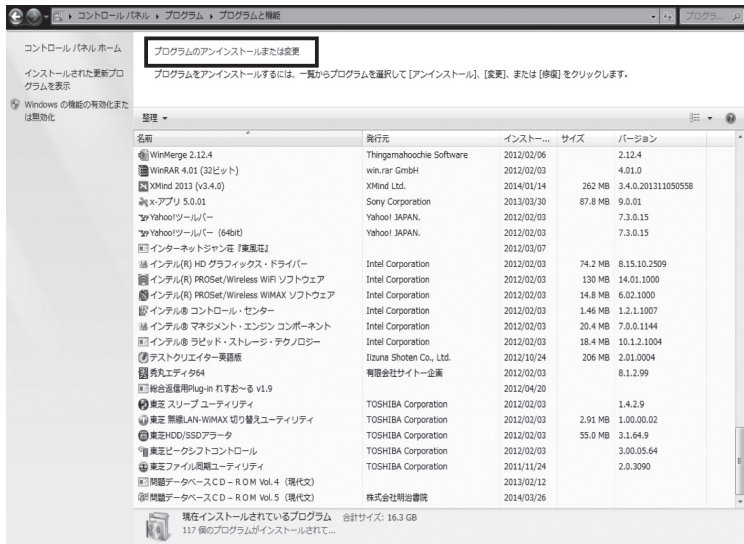
2．利用規約を全て読み（スクロールバーでスクロールし、全て読むことで「同意する」ボタンがクリック可能となります。)、「同意する」ボタンをクリックします。

3．「参照」ボタンをクリックし、インストールしたいフォルダを選択した後（※)、｢次へ｣ ボタンをクリックします。

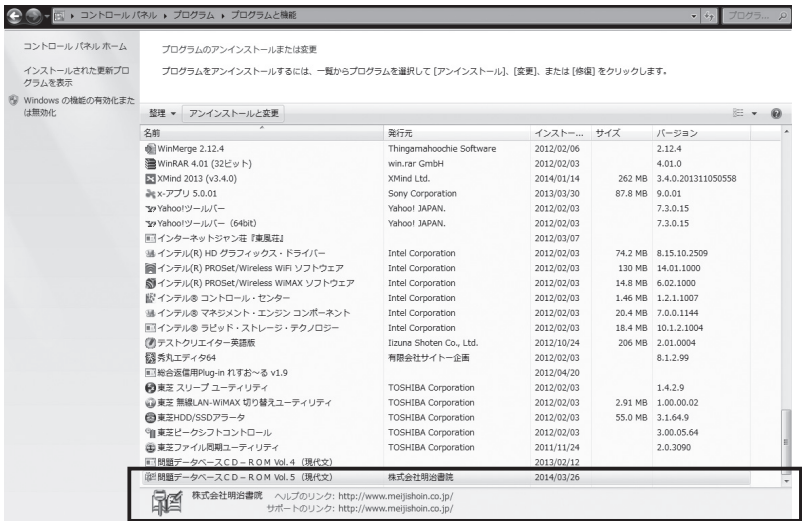
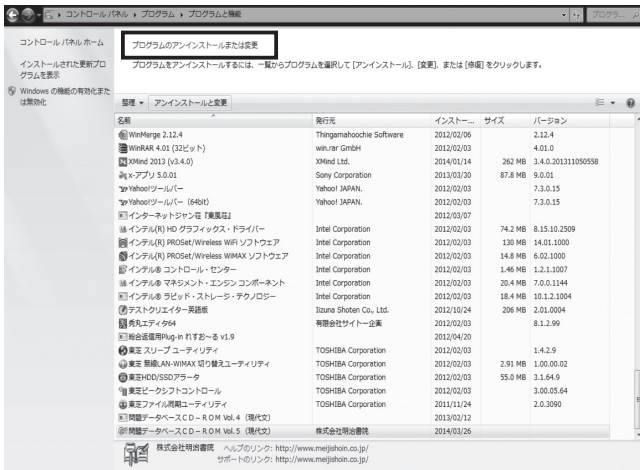
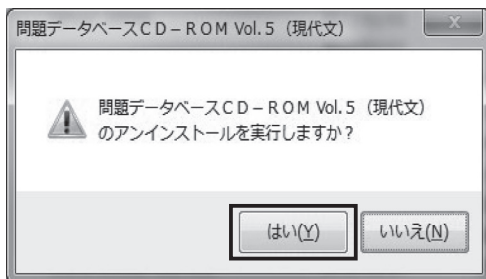
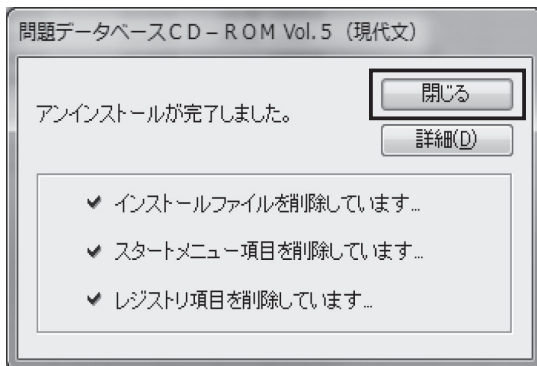
※…初期設定は、現代文…C:¥Program Files(x86)¥問題データベースＣＤ－ＲＯＭ Vol. ５、古文 / 漢文…C:¥Program Files(x86)¥問題データベースＣＤ－ＲＯＭ Vol. ５となっており、特に変更する必要はありません。

4．デスクトップにショートカットを作成したい場合は、「デスクトップ上にショートカットを作成する」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックします。

5．「完了」ボタンをクリックします。これでインストールは完了です。

※なお、本製品をお使いいただくには外字登録が必要となります。外字登録は任意の方法で可能ですが、28ページにその代表例をご紹介しています。ご参照ください。

< 場合によって必要になる設定 >

●ステップ４　ワープロソフトとして一太郎を使用する

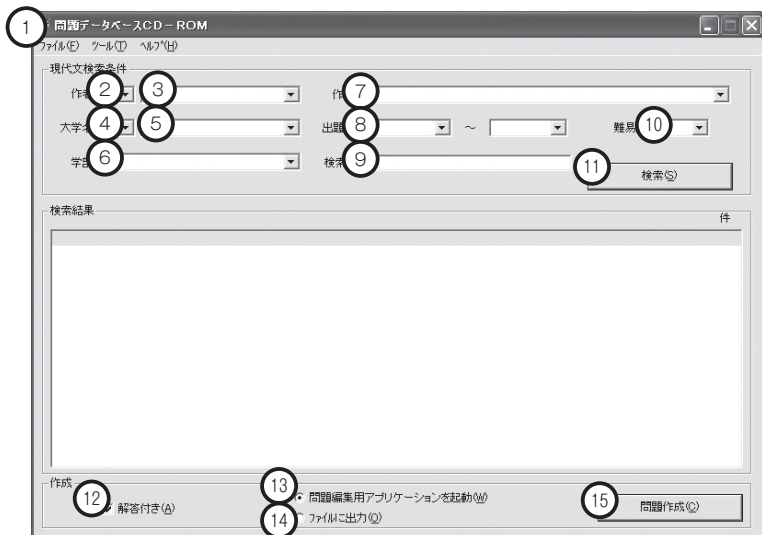
1．問題データベースを起動し、上部メニューの<ツール(T)>⇒環境設定をクリックします。

2.「指定アプリケーション」を選択し、一太郎の実行ファイルを指定します。

3．上記手順にて「問題作成」ボタンクリック時に起動するワープロソフトが一太郎に設定されます。

●ステップ５　ソフトの削除（アンインストール）を行う

１．コントロールパネル→プログラムのアンインストールを選択します。

２．問題データベース Vol.5（現代文）（※）をクリックし、選択します。

　※…古文の場合は問題データベース Vol.5（古文）、漢文の場合は問題データベース Vol.5（漢文）を選択します。

3.「アンインストールまたは変更」をクリックします。

4.「はい」ボタンをクリックします。

5.「閉じる」ボタンをクリックし、アンインストールは完了です。

◇第３章　このソフトを使用する

＜問題を作成するまでの手順＞

●ステップ１　最初に表示される画面の説明（問題作成編）

■現代文

１…各メニュー：別途「環境設定編」ページ（p.19）にて詳細に説明いたします。

２…作者（左）：「あ」～「ん」を指定します。〈選択した音で作者（右）が絞り込まれます。〉

３…作者（右）：作者を指定します。選択した作者で検索結果が絞り込まれます。

４…大学（左）：「あ」～「ん」を指定します。〈選択した音で大学（右）が絞り込まれます。〉

５…大学（右）：大学を指定します。選択した大学で検索結果が絞り込まれます。

６…学部：学部を指定します。選択した学部で検索結果が絞り込まれます。

７…作品名：作品名を指定します。選択した作品名で検索結果が絞り込まれます。

８…出題年度：出題年度を指定します。選択した出題年度で検索結果が絞り込まれます。

９…検索語句：指定した語句を含む問題で検索結果が絞り込まれます。

10…難易度：難易度を選択します。「＊」の数が多い程難易度が高くなります。

11…検索：検索を実行します。

12…解答付き：解答付きで問題を作成する場合にチェックします。

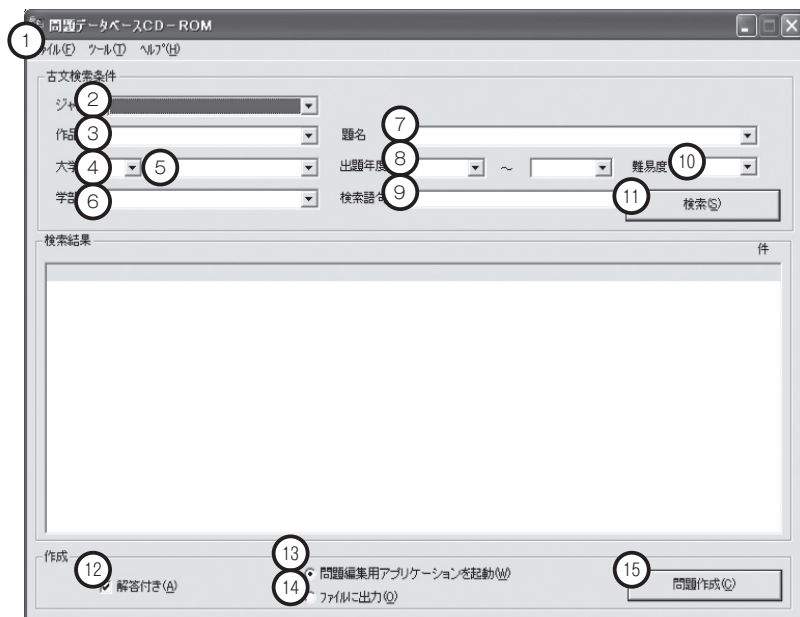
13…問題編集用アプリケーションを起動：問題作成ボタンクリック時、指定のワープロソフトを起動します。

14…ファイルに出力：指定のワープロソフトを起動せず、rtf ファイル形式で出力します。

15…問題作成：問題を作成します。

※上記２・３以外は現代文・古文 / 漢文共通の仕様です。

上記２・３は古文 / 漢文には項目が存在しません。

■古文 / 漢文

1 …各メニュー：別途「環境設定編」ページ（p.19）にて詳細に説明いたします。

2 …ジャンル：ジャンルを指定します。選択したジャンルで検索結果が絞り込まれます。

3 …作品名：作品名を指定します。選択した作品名で検索結果が絞り込まれます。

4 …大学（左）：「あ」～「ん」を指定します。〈選択した音で大学（右）が絞り込まれます。〉

5 …大学（右）：大学を指定します。選択した大学で検索結果が絞り込まれます。

6 …学部：学部を指定します。選択した学部で検索結果が絞り込まれます。

7 …題名：題名を指定します。選択した題名で検索結果が絞り込まれます。

8 …出題年度：出題年度を指定します。選択した出題年度で検索結果が絞り込まれます。

9 …検索語：指定した語句を含む問題で検索結果が絞り込まれます。

10…難易度：難易度を選択します。「＊」の数が多い程難易度が高くなります。

11…検索：検索を実行します。

12…解答付き：解答付きで問題を作成する場合にチェックします。

13…問題編集用アプリケーションを起動：問題作成ボタンクリック時、指定のワープロソフトを起動します。

14…ファイルに出力：指定のワープロソフトを起動せず、ファイルにのみ出力します。

15…問題作成：問題を作成します。

※上記２・７以外は現代文、古文 / 漢文共通の仕様です。

上記２・７は現代文には項目が存在しません。

●ステップ２　データの検索を行う

1．検索条件を設定し、検索ボタンをクリックします。

※検索条件を設定する際、あまり多くの条件を設定しないことが目的の情報により早く辿り着くコツとなります。

（例）

目的を、「青山学院大学の文学部で平成23年の問題を検索したい。」と設定したとします。

①青山学院大学を検索条件に設定し、検索ボタンをクリックします。

⇒13件の情報がヒットしました。

② 13 件の情報の中から目当ての情報を目視で探し出すのは困難ですので、さらに「学部」を追加し、検索ボタンをクリックします。

⇒５件の情報がヒットしました。この状態であれば後は目視で探し出せます。

③各問題の行をダブルクリックする事で、問題をクイックビューで参照することができます。

※検索語で検索した場合、その検索語がクイックビュー内では赤く強調表示されます。

●ステップ３　問題を作成する

1．検索条件を設定し、検索ボタンをクリックします。

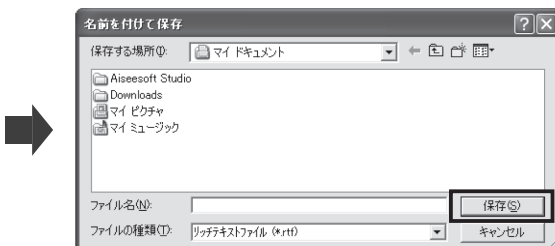
2．表示された検索結果の中から、作成したい問題の「選択」項目をチェックします。
「選択」項目は最大 10 個まで一度に選択することができ、複数チェックした場合、
１つのファイルにチェックした複数の問題が出力されます。

3．作成した問題をワープロソフトで起動したい場合は、「問題編集用アプリケーションを起動」を選択し、問題作成ボタンをクリックします。

ファイルに出力したい場合は、「ファイルに出力」を選択し、問題作成ボタンをクリックします。

「ファイルに出力」する場合は下記ダイアログが表示されますので、ファイル名を入力した後、「保存」ボタンをクリックして下さい。

（問題編集用アプリケーションを起動）

（ファイルに出力）

＜便利な機能＞

さらに、「検索する」という機能を補助する機能があります。

■並べ替え（ソート）機能

「ソート」とは、「ある特定のルールに基づいて並べ替える」ことを言います。

この問題データベースでは検索結果の項目名のタブをクリックすることで、以下のルールに基づいて「ソート」されます。

作者：SJIS 文字コード順に並べ替えられます。

作品名：SJIS 文字コード順に並べ替えられます。

大学名：SJIS 文字コード順に並べ替えられます。

学部：SJIS 文字コード順に並べ替えられます。

年度：年度の大きいものから順に並べ替えられます。

難易度：＊の数が少ない順に並べ替えられます。

問題文：SJIS 文字コード順に並べ替えられます。

■難易度での検索

難易度での検索が可能となり、より問題作成者の意図に沿う検索の実施ができるようになりました。

<環境設定などの手順>

●ステップ１　最初に表示される画面の説明（環境設定編）

１…ファイル

⇒検索履歴を開く：過去に保存した検索履歴を開きます。

⇒検索履歴を保存：検索条件を検索履歴として保存します。

⇒終了：アプリケーションを終了します。

２…ツール

⇒環境設定：詳細な動作設定を行います。

３…ヘルプ

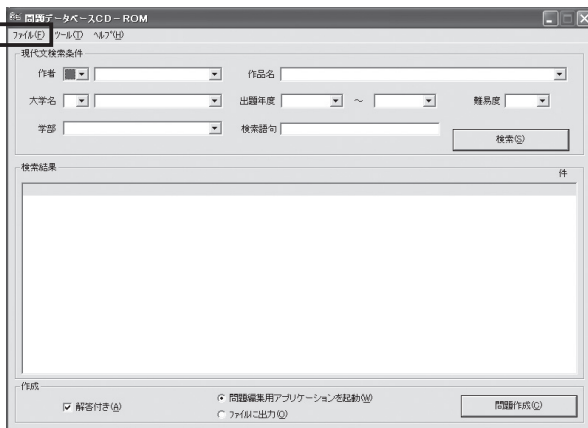
⇒目次：ヘルプファイルの目次を開きます。

⇒バージョン情報：当アプリケーションのバージョン情報を表示します。

●ステップ２ ファイルメニューの説明

１．検索履歴を開く

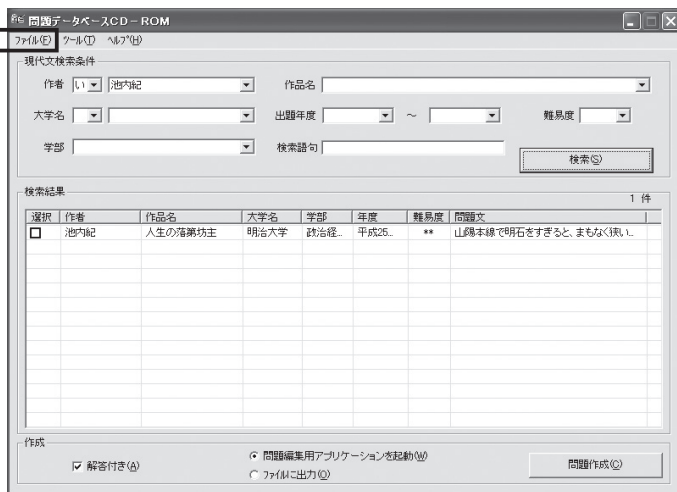
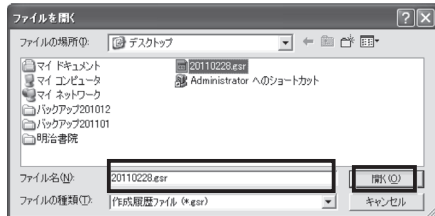
ファイル→「検索履歴を開く」を選択することで、過去に保存した検索条件を一度に表示することが可能です。

①ファイル→「検索履歴を開く」を選択します。

②検索履歴ファイルを選択します。

③保存した検索条件が表示され、検索結果も同時に表示されます。

2．検索履歴を保存

ファイル→「検索履歴を保存」を選択することで検索条件を保存することができます。

①ファイル→「検索履歴を保存」を選択します。

②任意の名称を設定し、開くボタンをクリックします。

※保存した検索条件は、「検索履歴を開く」を利用し、いつでも開くことができます。

３．終了

ファイル→「終了」を選択することで当アプリケーションを終了することができます。

※画面右端「×」も同様の機能です。

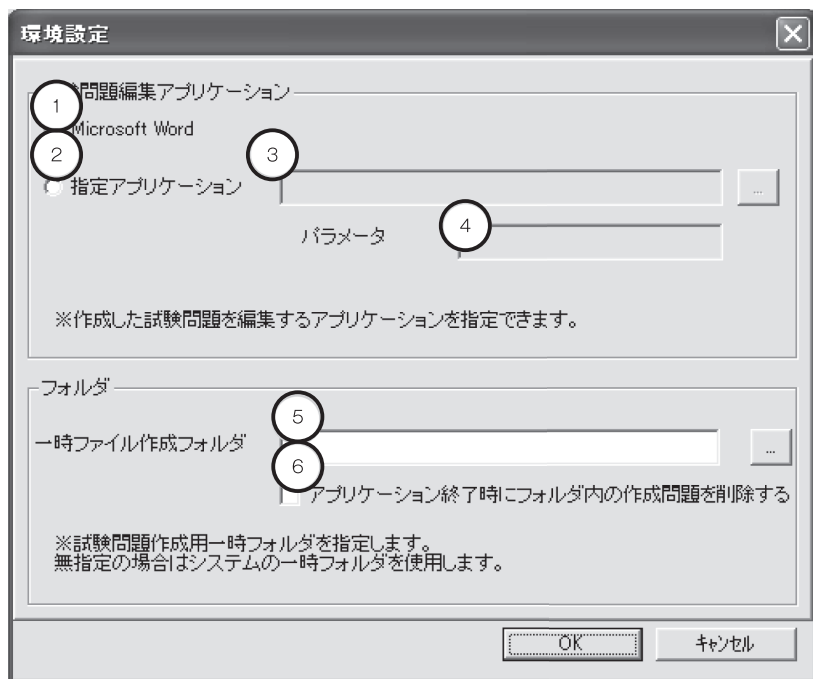
「検索履歴を保存」を行っていない場合は上記メッセージが表示されます。

「はい」を選択した場合は「検索履歴を保存」ダイアログが表示された後にアプリケーションを終了し、「いいえ」を選択した場合はそのままアプリケーションを終了します。

「キャンセル」を選択した場合はアプリケーションを終了しません。

（問題データベースに戻ります。）

●ステップ３ ツールメニューの説明

１．環境設定

１…Microsoft Word：問題編集時にワードを利用する場合、こちらを選択します。

２…指定アプリケーション：ワード以外を利用する場合、こちらを選択します。

３…２を選択した場合、どの実行ファイルを用いて編集を行うかを指定します。

４…パラメータ：基本的には設定しません。

５…一時ファイル作成フォルダ：問題ファイルを一時的に保存するフォルダを指定します。

６…アプリケーション終了時にフォルダ内の作成問題を削除する：終了時に５を削除する場合、チェックします。

●ステップ４　ヘルプメニューの説明

ヘルプ→「目次」を選択することでヘルプファイルを表示することができます。

◇第４章　困ったときには

・ホームページでのご案内

明治書院ホームページでは「問題データベースＱ＆Ａ」として、よくあるご質問と回答を掲載しています。

http://www. meijishoin.co.jp

HOME ＞ 教科書・教材 ＞ 情報「データベースＱ＆Ａ / 操作マニュアル」をご参照ください。

・「お客様センター」サポート

インストールや、操作方法などでお困りの際にはお客様センターフリーダイヤルまでご連絡ください。お電話にてサポートいたします。

また、メールでのご質問も随時受け付けております。

お気軽にご活用ください。

メイジハ　コクゴ　が　イーナマル

明治書院　お客様センター先生専用フリーダイヤル　0120-595-170

メールアドレス　info@meijishoin.co.jp

◇第５章　参考資料

１．基本的な用語について

データベース

データベースとは、集めたデータを後から検索しやすいように分類・蓄積したものをいいます。本ソフトは過去に出題された様々な問題を 1 枚の CD-ROM に蓄積し、その中から必要とされる問題（または問題に関係する情報）を簡単に検索できるようにしました。
（この「データ（情報）ベース（基地）」という言葉は、第二次大戦後の米軍がそれぞれの基地に点在していた資料をひとつの基地に集約して、そこに行けばすべての情報が得られるようにしたことから誕生したといわれています。）

テキスト（＝プレーンテキスト）

テキスト（＝プレーンテキスト）とは、人が読み書きできる文字と、改行やタブなどの特定の記号で構成されたデータ形式です。

リッチテキスト

リッチテキストとは、単に文字が並ぶだけのテキストに、文字の色とサイズ･文字の配置といった簡単なレイアウト情報を追加したものです。
多くのワープロソフトで共通して読み書きが可能なデータ形式です。
本ソフトで検索した問題はリッチテキスト形式で保存することができます。
この形式によることで、ワープロソフト（「ワード」や「一太郎」）を使って簡単に問題プリントを印刷することができます。

ワープロとワープロソフト

ワープロ（＝ワードプロセッサ）とは、コンピュータで文章を入力・編集・印刷するためのシステムのことです。
そしてワープロソフトは、ワードプロセッサの機能を実現したソフトウェア（プログラム）のことで、日本では「ワード」と「一太郎」が多くの人に使われています。

バージョン

バージョンとは、主にソフトの改訂番号のことです。
数字が大きいほど新しいものであることを示しています。
「Windows」における「Vista（=6）」や「7」はバージョンを示したものです。

エディション

エディションとは、製品の提供形式をいいます。機能や性能に差をつけて同一製品を違うパッケージにしたときの、それぞれの形式のことです。

「Windows 7」の場合、Home Premium や Professional など 5 つのエディションが用意されています。

（例えば Home Premium というエディションは、主に家庭で使用されることを前提にしたパッケージです。）

サービスパック（=SP）

サービスパックとは、主にマイクロソフトが使用している用語で、ソフトの修正プログラムをひとまとめにしたものです。

同社は、製品の発売後に（「Windows」などの発売後に）不都合が発見されると修正プログラムを提供しています。

そして定期的にそれらのプログラムを一つにまとめます。

このようにしてまとめたパッケージをサービスパックと呼んでいます。最初にまとめたものを「サービスパック 1（SP1）」、その後、新しく提供されるたびに 2（SP2）・3（SP3）と数字を大きくしていくものです。

（例えば「Windows 7」の入ったパソコンに「サービスパック 2」をインストールした場合、「Windows 7 SP2」と呼び、それ以前の「Windows 7」と区別します。）

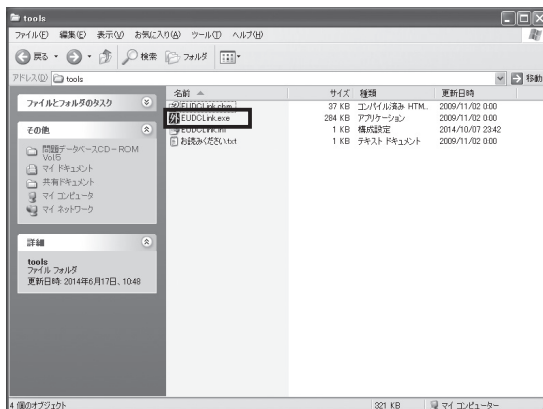
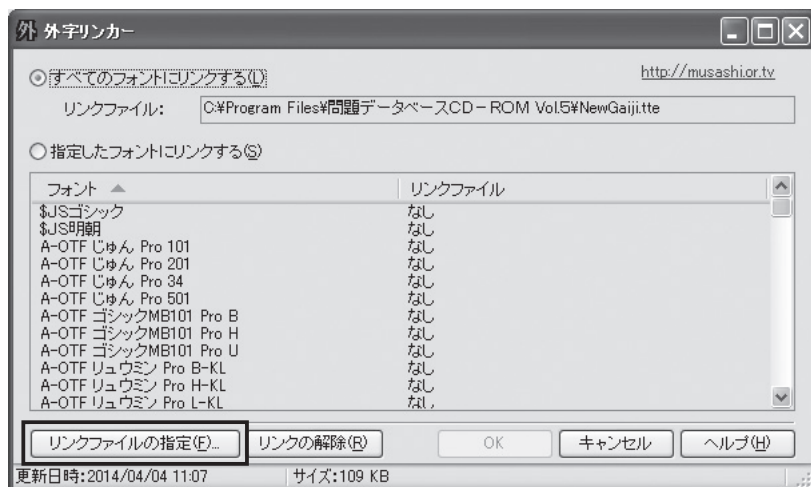
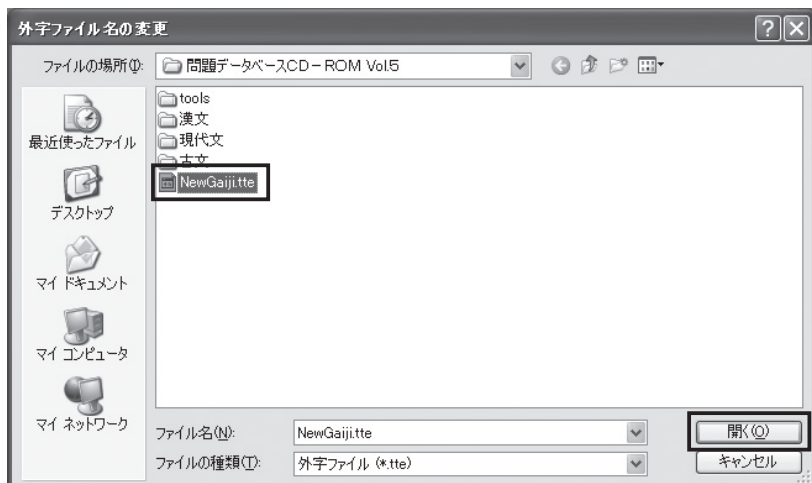
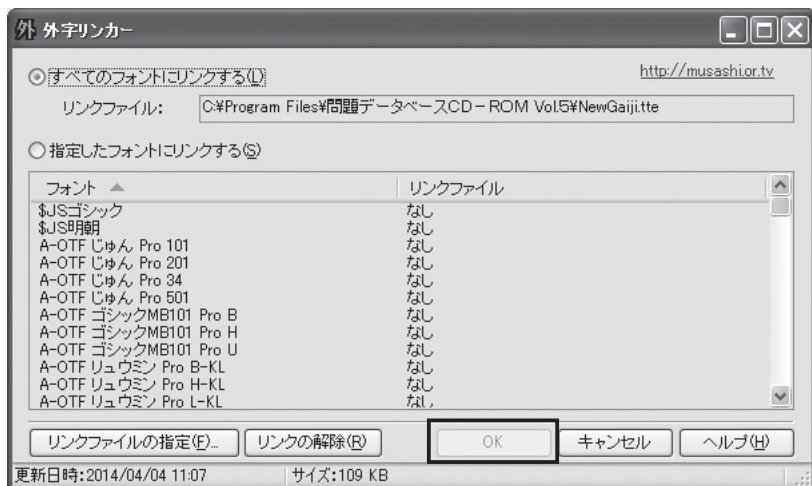
２．外字の登録について

本製品では、漢文のレ点等を表現するにあたって、外字を用いています。

外字を有効にする際は、外字リンカー（※ 1）等のソフトを用いて、本ソフト付属の外字ファイルを登録してご利用下さい。

以下に代表例として外字リンカーの利用方法をご紹介します。

※ 1…外字リンカーは株式会社 武蔵システム（http://opentype.jp）の製品です。

■問題データベース内の「tools」フォルダ内、「EUDCLink.exe」をダブルクリックします。

■「リンクファイルの指定」をクリックします。

■「NewGaiji.tte」を選択し、「開く」ボタンをクリックします。

■「OK」ボタンをクリックします。

＜仕様＞

収録問題数内訳

現代文

問題数…409

作品数…387

著者数…308

大学数…88

古文

問題数…253

作品数…134

大学数…64

漢文

問題数…112

作品数…81

大学数…37

付録　現代文作者別作品一覧

評論・随想

作者	作品
青柳　いづみこ	音楽と文学の対位法
赤坂　憲雄	旅学的な文体
阿川　弘之	鮎の宿
阿久　悠	普段着のファミリー
安部　公房	言葉によって言葉に逆らう
阿部　公彦	凝視の作法
尼ヶ崎　彬	日本のレトリック
イ・ヨンスク	「ことば」という幻影
池内　紀	人生の落第坊主
池内　了	疑似科学入門
池内　了	物理学と神
石城　謙吉	森林と人間――ある都市近郊林の物語
石川　淳	江戸文学掌記
石川　淳	敗荷落日
石川　美子	旅のエクリチュール
板坂　耀子	江戸の紀行文
一ノ瀬　正樹	死の所有
市村　弘正	小さなものの諸形態
井原　今朝男	生業の古代中世史と自然観の変遷
今西　錦司	進化とはなにか
今村　仁司	群衆――モンスターの誕生
入不二　基義	足の裏に影はあるか？ないか？
岩井　克人	経済危機の行方
巖谷　國士	森と芸術
上田　紀行	生きる意味
植野　弘子	名前と変化
内田　樹	日本辺境論
内田　樹	寝ながら学べる構造主義
内田　樹	戦中派と科学について
内田　樹	目標文化をもたない言語
内田　樹	不便さと教育
内田　樹	街場の読書論
内山　節	共同体の基礎理論
宇野　邦一	反歴史論
梅原　猛	地獄の思想
江藤　淳	現代と漱石と私
遠藤　周作	異邦人の立場から
大浦　康介	虚構の知恵・「ウソ」の効用
大江　健三郎	定義集
大岡　信	幻の世俗画
大岡　信	詩・ことば・人間
大澤　真幸	社会は絶えず夢を見ている
大澤　真幸	思想のケミストリー
大竹　昭子	彼らが写真を手にした切実さを―《日本写真》の 50 年
大橋　良介	聞くこととしての歴史――歴史の感性とその構造
大森　荘蔵	流れとよどみ
大森　荘蔵	自分と出会う
小川　洋子	アンネ・フランクの記憶
荻上　チキ	検証　東日本大震災の流言・デマ
沖森　卓也	はじめて読む日本語の歴史
桶谷　秀昭	日本人の遺訓
加賀野井　秀一	日本語の復権
笠井　潔	探偵小説は「セカイ」と遭遇した
梶　茂樹、砂野　幸稔	アフリカのことばと社会
柏木　博	動物園というメディア
柏木　博	探偵小説の室内
加藤　周一	日本文化における時間と空間
加藤　秀一	＜個＞からはじめる生命論
加藤　尚武	現代人の倫理学
加藤　秀俊	情報行動
加藤　陽子	それでも、日本人は「戦争」を選んだ

鎌田　浩毅	「知的生産」のための術語集
柄谷　行人	意味という病
苅谷　剛彦	「学歴インフレ」脱却急げ
苅部　直	光の領国　和辻哲郎
河合　隼雄	子どもの宇宙
河合　隼雄	宗教と科学の接点
川田　順造	文化を交叉させる　人類学者の眼
川田　順造	人類学的認識論のために
河野　裕子	ひとり遊び
川端　康成	末期の眼
川村　二郎	翻訳の日本語
木岡　伸夫	風景の中の時　時の中の風景
紀田　順一郎／中野　三敏	電子書籍の彼方へ／和本リテラシーの回復のために
北村　薫	詩歌の待ち伏せ
北村　透谷	厭世詩家と女性
木村　敏	自分ということ
木村　敏	境界としての自己
清沢　満之	科学と宗教
久遠　さら	なぜ今どきの男子は眉を整えるのか
国木田　独歩	アンビション（野望論）
隈　研吾	新・建築入門
熊田　孝恒	マジックにだまされるのはなぜか
熊野　純彦	知と行動の「外部化」が意味するもの
黒井　千次	働くということ
黒井　千次	日記の不思議
桑子　敏雄	感性の哲学
桑原　武夫	文学入門
幸田　文	旅がへり
幸田　露伴	連環記
河野　哲也	意識は実在しない
國分　功一郎	暇と退屈の倫理学
小坂井　敏晶	民族という虚構
小坂井　敏晶	異邦人のまなざし——在パリ社会心理学者の遊学記
越　宏一	ヨーロッパ美術史講義　風景画の出現
古東　哲明	瞬間を生きる哲学
小林　秀雄	鐔
小林　秀雄	信楽大壺
小町谷　朝生	視覚の文化
小谷野　敦	なぜ悪人を殺してはいけないのか
紺野　登	幸せな小国オランダの智慧
雑賀　恵子	空腹について
西郷　信綱	日本文学の古典　第二版
齋藤　希史	漢文スタイル
佐伯　啓思	学問の力
酒井　直樹	日本思想という問題
酒井　直樹	希望と憲法
坂口　安吾	意慾的創作文章の形式と方法
坂部　恵	和辻哲郎——異文化共生の形
坂本　多加雄	近代日本精神史論
阪本　俊生	ポスト・プライバシー
桜井　英治	贈与の歴史学
佐々木　健一	日本的感性　触覚とずらしの構造
佐々木　毅	政治の精神
佐々木　毅	学ぶとはどういうことか
佐佐木　幸綱	人間の声——私説現代短歌原論——
佐藤　健二	歴史と出会い、社会を見いだす
佐藤　忠男	みんなの寅さん
佐藤　信夫	レトリックの記号論
佐藤　雅彦	考えの整頓
佐藤　守弘	トポグラフィの日本近代
椹木　野衣	感性は感動しない
三宮　麻由子	心にシーンが増えていく
塩野谷　祐一	聖フランチェスコと「無」のヴェール—清貧の思想をどのように受け取ったらよいか—

清水　幾太郎	社会的人間論
清水　良典	あらゆる小説は模倣である。
末木　文美士	日本宗教史
須賀　敦子	遠い朝の本たち
杉浦　明平	記録文学ノート
鈴木　大拙	日本文化にたいする佛教の貢献
鈴木　博之	近代建築論講義
瀬木　慎一	名画修復
芹沢　俊介	家族という意志――よるべなき時代を生きる
外岡　秀俊	震災と原発　国家の過ち
高階　秀爾	20 世紀美術
高橋　和巳	悲劇の先駆者
高畠　通敏	政治学への道案内
田川　建三	宗教とは何か　上　宗教批判をめぐる
田口　鼎軒	意匠論
竹内　啓	偶然とは何か
竹内　久顕	平和を次世代に引き継ぐために
竹田　青嗣	超解読！　はじめてのヘーゲル「精神現象学」
橘木　俊詔	日本の教育格差
立川　昭二	人生の不思議
立川　昭二	病いの人間学
蓼沼　宏一	幸せのための経済学――効率と衡平の考え方
田中　克彦	言語学とは何か
田中　直毅	永田町も「失われた二〇年」
谷川　渥	廃墟の美学
田沼　靖一	科学の進歩により変わる生命、変わる生命観
辻　邦生	言葉が輝くとき
津島　佑子	魔性の世界
鶴見　俊輔	教育再定義への試み
寺島　実郎	世界を知る力
寺田　寅彦	自画像
土井　隆義	友だち地獄――「空気を読む」世代のサバイバル
冨谷　至	四字熟語の中国史
外山　滋比古	日本の修辞学
外山　滋比古	知的創造のヒント
外山　滋比古	虚の華
鳥越　皓之	「サザエさん」的コミュニティの法則
中沢　新一	野生の科学
中島　義道	後悔と自責の哲学
中西　進	日本人の忘れもの３
中野　孝次	ブリューゲルへの旅
中野　重治	藝術に関する走り書的覚え書
中野　好夫	悪人礼賛
仲正　昌樹	いまを生きるための思想キーワード
中村　明	語感トレーニング
中村　明	日本語のコツ
中村　光夫	老いの微笑
中村　稔	早朝散歩
中村　良夫	風景学入門
中谷　宇吉郎	茶碗の曲線
夏目　漱石	素人と黒人
西尾　幹二	ヨーロッパ像の転換
西澤　晃彦	貧者の領域
西谷　修	戦争論
西谷　修	理性の探究
西部　邁	昔、言葉は思想であった
日本経済新聞	二〇一一年六月一九日付　朝刊社説
日本経済新聞／朝日新聞	二〇一二年六月一八日付　朝刊社説／二〇一二年六月一七日付　朝刊社説
野内　良三	レトリックと認識
野家　啓一	日本語で哲学するということ　坂部恵の詩と哲学
野家　啓一	哲学の迷路
野口　恵子	バカ丁寧化する日本語
野本　寛一／南方　熊楠／谷川　健一	地霊の復権／南紀特有の人名／地霊の叫び

野矢　茂樹	哲学・航海日誌Ⅱ
野矢　茂樹	語りえぬものを語る
榿　浩一	日本経済が何をやってもダメな本当の理由
橋本　治	「わからない」という方法
橋本　治	生物の正義と乾き物の正義
橋本　努	ロスト近代
花田　清輝	二つの焦点
濱口　惠俊	「間（あわい）の文化」と「独（ひとり）の文化」
林　達夫	文章について
林　達夫	デカルトのポリティーク
林　直哉	高校生のためのメディア・リテラシー
原　克	アップルパイ神話の時代　アメリカ　モダンな主婦の誕生
原　研哉	シンプルはいつ生まれたのか
原　研哉	大量発話時代の本と幸せについて
原　研哉	デザインのデザイン　Special　Edition
久田　邦明	責任を取らない社会
日高　敏隆	世界を、こんなふうに見てごらん
兵藤　裕己	思想の身体――声の巻
平川　克美	経済成長という病――退化に生きる、我ら
平川　祐弘	日本語は生きのびるか
平川　祐弘	アーサー・ウェイリー
平塚　らいてう	世の婦人たちに
平野　啓一郎	文明の憂鬱
平松　洋子	猫の隊列が通る庭
平山　郁夫	絵と心
広井　良典	コミュニティを問いなおす　つながり・都市・日本社会の未来
広井　良典	なぜコミュニティなのか。どうしていま、文化なのか
廣末　保	芭蕉
深沢　徹	往きて、還る。
深澤　徳	思想としての「無印良品」
福岡　伸一	世界は分けてもわからない
福嶋　亮大	探偵小説のクリティカル・ターン
藤井　貞和	文語に会うとき
富士川　英郎	蛙の詩
藤田　省三	ナルシズムからの脱却――物に行く道
藤田　省三	精神史的考察
藤田　省三	ある喪失の経験―隠れん坊の精神史
藤田　省三	精神の非常時
藤原　帰一	戦争を記憶する
藤原　新也	ネットが世界を縛る
藤原　正彦	数学者の言葉では
保坂　和志	弦に指がこすれる音
保坂　直紀	わたしの心に住むかわいい悪魔
穂村　弘	短歌の友人
穂村　弘	短歌という爆弾―今すぐ歌人になりたいあなたのために
堀井　憲一郎	いますぐ書け、の文章法
堀江　敏幸	誕生日について
本郷　均	概説　現代の哲学・思想
本田　由紀	教育の職業的意義
前田　英樹	独学の精神
前田　英樹	なぜ〈日本刀〉は生まれたのか
前田　英樹	日本人の信仰心
真木　悠介	時間の比較社会学
町田　宗鳳	「野性」の哲学――生きぬく力を取り戻す
松井　孝典	我関わる、ゆえに我あり
松浦　寿輝	散歩のあいまにこんなことを考えていた
松浦　寿輝	増補　折口信夫論
松浦　寿輝	青の奇蹟
松浦　寿輝	官能の哲学
松本　三之介／馬場　辰猪	近世日本の思想像／天賦人権論
丸田　一	「場所」論
丸山　圭三郎	言葉と無意識
丸山　真男	忠誠と反逆　転形期日本の精神史的位相
三浦　周行	国史上の社会問題

	著者	書名
	水谷　雅彦	「多様性」ということ
	水村　美苗	日本語で書くということ
	三井　秀樹	かたちの日本美
	港　千尋	書物の変―グーグルベルグの時代
	港　千尋	芸術回帰論　イメージは世界をつなぐ
	宮原　浩二郎	ことばの臨床社会学
	三輪　和雄	夢の科学
	村上　春樹	村上春樹　雑文集
	村上　陽一郎	安全学
	村上　陽一郎	科学・哲学・信仰
	村瀬　信一	明治立憲制と内閣
	村山　斉	宇宙は何でできているか
	室生　犀星	加賀金沢・故郷を辞す
	目崎　徳衛	業平と小町
	モース研究会	マルセル・モースの世界
	最上　敏樹	国連システムを超えて
	茂木　健一郎	挑戦する脳
	森崎　和江	いのちの素顔
	森　博嗣	自由をつくる　自在に生きる
	安岡　章太郎	小説家の小説家論
	矢田部　英正	たたずまいの美学――日本人の身体技法
	柳　宗悦	工藝文化
	山崎　正和	文明としての教育
	山崎　正和	世界文明史の試み――神話と舞踊――
	山竹　伸二	「認められたい」の正体
	山田　陽子	心理ブーム――人はなぜ、感情をコントロールするのか
	湯浅　博雄	ランボーの詩の翻訳について
	湯浅　博雄	翻訳のポイエーシス
	湯浅　泰雄	哲学の誕生　男性性と女性性の心理学
	横尾　忠則	それは芸術？　それとも生活？
	吉岡　洋	＜思想＞の現在形
	吉川　幸次郎	本居宣長
	吉澤　剛、中島　貴子、本堂　毅	科学技術の不定性と社会的意思決定
	吉田　憲司	表象としての身体
	吉田　文彦	朝日新聞　ザ・コラム
	吉田　喜重	小津安二郎の反映画
	吉見　俊哉	メディア環境のなかの子ども文化
	吉見　俊哉	公共知の未来へ
	吉本　隆明	詩学叙説
	吉本　隆明	宮沢賢治
	米澤　泉	饒舌な化粧
	米原　万里	心臓に毛が生えている理由
	米山　俊直	文化人類学の考え方
	若桑　みどり	レット・イット・ビー
	若林　幹夫	社会学入門一歩前
	若林　幹夫	サイバーシティは「人を自由にする」か
	若林　幹夫	地図の想像力
	鷲田　清一	身ぶりの消失
	鷲田　清一	「聴く」ことの力―臨床哲学試論
	鷲田　清一	わかりやすいはわかりにくい？――臨床哲学講座
	鷲田　清一	じぶん　この不思議な存在
	鷲田　清一	死なないでいる理由
	鷲田　清一	だれのための仕事
	鷲田　清一	感覚の幽い風景
	渡辺　京二	民衆という幻像
	渡辺　裕	歌う国民――唱歌、校歌、うたごえ
	和辻　哲郎	日本倫理思想史
小説・詩歌	芥川　龍之介	戯作三昧
	浅尾　大輔	ブルーシート
	あさの　あつこ	火群のごとく
	阿部　昭	猫
	有島　武郎	生まれ出ずる悩み
	有島　武郎	小さき者へ
	有吉　佐和子	恍惚の人

伊藤　整	若い詩人の肖像
伊藤　比呂美	犬心
井上　ひさし	汚点
井上　ひさし	あくる朝の蝉
井上　靖	星と祭
井伏　鱒二	たま虫を見る
井伏　鱒二	黒い雨
遠藤　周作	深い河
岡本　かの子	晩春
岡本　かの子	家霊
小川　国夫	物と心
小川　国夫	海と鰻
小川　洋子	キリコさんの失敗
荻原　浩	神様からひと言
尾崎　一雄	痩せた雄雞
角田　光代	トリップ
加藤　幸子	海辺暮らし
金井　美恵子	彼女（たち）について私の知っている二、三の事柄
菊池　寛	仇討三態
木山　捷平	枯木の花
国木田　独歩	帽子
国木田　独歩	富岡先生
久米　正雄	受験生の手記
幸田　文	髪
佐伯　一麦	カーブ
鷺沢　萠	明るい雨空
鷺沢　萠	川べりの道
佐多　稲子	人形と笛
佐藤　泰志	海炭市叙景
佐野　洋子	シズコさん
椎名　麟三	ある不幸な報告書
重松　清	かさぶたまぶた
重松　清	ネコはコタツで
柴田　翔	ロクタル管の話
島木　健作	赤蛙
島木　健作	むかで
島木　健作	黒猫
須賀　敦子	トリエステの坂道
高井　有一	少年たちの戦場
竹西　寛子	湖
太宰　治	黄金風景
辻井　喬	終りなき祝祭
津島　佑子	黄金の夢の歌
坪内　逍遙	当世書生気質
常盤　新平	おふくろとアップル・パイ
永井　龍男	一個
永瀬　清子	雨について
南木　佳士	急須
夏目　漱石	門
夏目　漱石	猫の墓
野坂　昭如	夏わかば
原田　宗典	小さく大きな舞台
平田　俊子	（お）もろい夫婦
牧野　信一	地球儀
松村　栄子	僕はかぐや姫
三島　由紀夫	雨のなかの噴水
武者小路　実篤	友情
村上　春樹	沈黙
村上　春樹	品川猿
村上　春樹	１Ｑ８４
村田　喜代子	真夜中の自転車
森　鷗外	普請中
山田　詠美	風味絶佳
山田　詠美	微分積分

横光　利一	美しい家
吉田　修一	東京画
吉村　昭	電車、列車のこと

現代文大学一覧

愛知大学
愛知学院大学
青山学院大学
宇都宮大学
愛媛大学
大阪大学
大阪市立大学
岡山大学
お茶の水女子大学
尾道市立大学
香川大学
学習院大学
神奈川大学
金沢大学
関西大学
関西学院大学
関東学院大学
畿央大学
九州大学
九州産業大学
京都大学
京都産業大学
京都女子大学
近畿大学
熊本大学
慶應義塾大学
神戸大学
神戸女子大学
神戸新和女子大学
國學院大学
駒澤大学
埼玉大学
静岡大学
実践女子大学
首都大学東京
上智大学
昭和女子大学
白百合女子大学
信州大学
成蹊大学
聖心女子大学
清泉女子大学
西南学院大学
専修大学
センター試験
千葉大学
中央大学
中京大学
筑波大学
津田塾大学
都留文科大学
帝京大学
東海大学
東京大学
東京学芸大学
東京女子大学
東京理科大学
同志社大学
同志社女子大学
東北大学
東洋大学
長崎大学
奈良女子大学
南山大学
新潟大学
二松學舍大学
日本大学
日本女子大学
日本福祉大学
一橋大学
広島大学
広島修道大学
福井県立大学
福岡大学
福岡教育大学
福島大学
佛教大学
法政大学
北海道大学
三重大学
宮城教育大学
宮崎大学
武庫川女子大学
明治大学
山形大学
立教大学
立命館大学
和歌山大学
早稲田大学

古文ジャンル別作品別題名一覧

物語	竹取物語	三　仏の御石の鉢
	大和物語	二段
	大和物語	六一段
	大和物語	一〇三段
	大和物語	一四一段
	大和物語	一四八段
	大和物語	一五二段
	大和物語	一六〇段
	大和物語	一七一段
	うつほ物語	春日詣
	うつほ物語	楼の上
	落窪物語	巻一
	落窪物語	巻二
	源氏物語	桐壺
	源氏物語	夕顔
	源氏物語	澪標
	源氏物語	絵合
	源氏物語	玉鬘
	源氏物語	篝火
	源氏物語	幻
	源氏物語	宿木
	源氏物語	東屋
	源氏物語	手習
	源氏物語	夢浮橋
	浜松中納言物語	巻一
	浜松中納言物語	巻四
	浜松中納言物語／菊花	巻一／菊花
	堤中納言物語	このついで
	堤中納言物語	はいずみ
	堤中納言物語	思はぬ方にとまりする少将
	堤中納言物語／新撰万葉集	はいずみ／巻上
	夜の寝覚	巻一
	夜の寝覚	巻四
	狭衣物語	巻一
	狭衣物語	巻二
	住吉物語	住吉物語
	苔の衣	春
	苔の衣	秋
	松陰中納言物語	巻二
	松陰中納言物語	巻四
	我が身にたどる姫君	我が身にたどる姫君
	忍音物語	忍音物語
	しのびね	しのびね
	あきぎり	あきぎり
	別本八重葎	別本八重葎
日記・紀行	土佐日記	一月七日
	土佐日記	二月五日
	蜻蛉日記	康保三年八月
	和泉式部日記	和泉式部日記
	更級日記	更級日記
	讃岐典侍日記	下巻
	源家長日記	建仁三年
	源家長日記／臨安春雨初霽	建仁三年／臨安春雨初霽
	たまきはる	たまきはる
	うたたね	うたたね
	弁内侍日記	寛元四年
	中務内侍日記	上
	都のつと	都のつと
	都のつと／伊勢物語	都のつと／第九段
	春のみやまぢ	四月
	とはずがたり	巻一

	とはずがたり／聞夜砧	巻三／聞夜砧
歴史物語・軍記物語	栄花物語	巻二七　ころものたま
	栄華物語／漢書	巻二七　ころものたま／巻九七　上
	大鏡	太政大臣実頼
	大鏡	左大臣師尹
	大鏡	右大臣師輔
	大鏡	太政大臣伊尹
	大鏡	太政大臣為光
	大鏡	内大臣道隆
	大鏡	昔物語
	大鏡	雑々物語
	今鏡	藤波の上　第四
	今鏡	昔語　第九
	今鏡／毛詩集解	すべらぎの上　第一／巻三
	宇治物語	宇治物語
	増鏡	第一　おどろのした
	増鏡	第一三　秋のみ山
	吾妻鏡	巻六
	保元物語	為義最後の事
	平治物語	下
	平家物語	巻一　鱸
	平家物語	巻四　鼬之沙汰・信連
	平家物語	巻四　鵺
	平家物語	巻六　祇園女御
	平家物語	巻一〇　内裏女房
	源平盛衰記	源平盛衰記
	曾我物語	巻四
	曾我物語	巻六
	曾我物語	巻七
説話	今昔物語集	巻一四　第三八
	今昔物語集	巻二四　第三五
	今昔物語集	巻二八　第八
	今昔物語集	巻三〇　第一一
	今昔物語集	巻三〇　第七
	古本説話集	第二六
	古本説話集	第五七
	発心集	巻一　一〇
	発心集	巻五　七
	発心集	巻六　七
	発心集	巻六　九
	発心集	巻八　八
	発心集／旧唐書	巻一　一二／一二七巻　列伝第七七
	唐物語／漢書	第一七／巻四〇
	続古事談	巻一　一一・一二・一三
	宇治拾遺物語	巻三　三九
	宇治拾遺物語	巻五　七四
	宇治拾遺物語	巻六　八五
	宇治拾遺物語	巻八　一〇一
	宇治拾遺物語	巻一二　一三一
	宇治拾遺物語	巻一二　一四八
	宇治拾遺物語	巻一三　二
	閑居友	上　一三
	明恵上人伝記	巻上
	今物語	一〇
	今物語	一八
	今物語	二四
	今物語	三〇
	十訓抄	第一　一八
	十訓抄	第二　四
	十訓抄	第三　一
	十訓抄	第三　一〇
	十訓抄	第六
	十訓抄	第七　三〇

	十訓抄	第八　三・四
	十訓抄	第八　四
	十訓抄	第一〇　一六
	十訓抄	第一〇　七三
	十訓抄／俊頼髄脳	第一　一八／俊頼髄脳
	古今著聞集	巻八　三一九
	古今著聞集	巻八　三二二
	古今著聞集	巻一六　五三八
	沙石集	巻七　四
	沙石集	巻七　一〇
	撰集抄	巻七　一〇
	乳母の草紙	乳母の草紙
	かざしの姫君	かざしの姫君
	御曹子島渡	御曹子島渡
	鉢かづき	鉢かづき
	しぐれ	しぐれ
	ささやき竹	ささやき竹
	転寝草紙	転寝草紙
	艶道通鑑	恋之下の十五
	日暮硯	家中諸芸出精・制せずして博奕停止
随筆・法話	枕草子	七二四段
	徒然草	二一七段
	榻鴫暁筆	第一三　怨念
評論	万葉集抄	下
	俊頼髄脳	俊頼髄脳
	俊頼髄脳／浦島太郎	俊頼髄脳／浦島太郎
	袋草紙	雑談
	無名草子	無名草子
	無名抄	せみのを川事
	無名抄	式部と赤染の勝劣の事
	紫明抄	小鳥付荻枝事
	正徹物語	下　三六
	長六文	長六文
	百人一首一夕話	百人一首一夕話
和歌	成尋阿闍梨母集	巻二
	四条宮下野集	四条宮下野集
	六百番歌合／晋書	春下　二十二番／巻四　恵帝紀
	建礼門院右京大夫集	建礼門院右京大夫集
	建礼門院右京大夫集／源家長日記	建礼門院右京大夫集／源家長日記
	雲玉和歌抄	雲玉和歌抄
近世小説	伽婢子	巻三　牡丹灯籠
	伽婢子	巻一二　早梅花妖精
	本朝桜陰比事	巻三　四
	日本永代蔵	巻一
	雨月物語	夢応の鯉魚
	春雨物語	天津処女
	癇癖談	上
	しみのすみか物語	下
近世評論	俳諧問答	俳諧問答
	国歌八論	古学論
	排蘆小船	排蘆小船
	草庵集玉箒	草庵集玉箒
	国文世々の跡	国文世々の跡
	玉勝間	四の巻
	玉勝間	六の巻
	玉勝間	一一の巻
	玉勝間	一三の巻　三七・三八
	うひ山ぶみ	うひ山ぶみ
	新学異見	新学異見
	百首異見	百首異見
俳文・俳論	奥の細道	福井・敦賀
	丈草ガ誄	丈草ガ誄
	也哉抄	也哉抄

	新花つみ／虚白堂	新花つみ／虚白堂
	鶉衣	歎老辞
	鶉衣	百虫賦
近世随筆・紀行・その他	折たく柴の記	折たく柴の記
	たはれ草／全唐詩	たはれ草／銜命還国作
	織錦舎随筆	巻上
	折々草	春の部
	大崎のつつじ	大崎のつつじ
	松虫の説	松虫の説
	真葛がはら	真葛がはら
	とはずがたり	とはずがたり
	雲萍雑志	巻二
	雲萍雑志	巻三
	山家記	山家記
	筆のすさび／中秋月寄子由三首　其三	巻一／中秋月寄子由三首　其三
	なぐさみ草	なぐさみ草
	更科紀行	更科紀行
	帰家日記	中巻
	松蔭日記	巻六　としのくれ
	松蔭日記	巻一九　ゆかりの花
	三野日記	三野日記
	井関隆子日記	井関隆子日記
	常山紀談	由井正雪反逆の時、頼宣卿出仕の事
	常山紀談	尼崎幸右衛門が娘親の仇を討ちし事
	世事見聞録	巻七　山林の事
	草津繁昌記	草津繁昌記
	鵺	鵺
	わらんべ草	五九段

古文大学一覧

愛知学院大学
愛知大学
青山学院大学
愛媛大学
大阪市立大学
大阪大学
岡山大学
お茶の水女子大学
学習院大学
神奈川大学
金沢大学
関西学院大学
関西大学
関東学院大学
九州産業大学
九州大学
京都産業大学
京都女子大学
京都大学
京都府立大学
近畿大学
熊本大学
甲南大学
神戸女子大学
神戸大学
國學院大学
駒澤大学
埼玉大学
静岡大学
首都大学東京
上智大学
白百合女子大学
西南学院大学
専修大学
センター試験
千葉大学
中央大学
筑波大学
都留文科大学
東海大学
東京学芸大学
東京女子大学
東京大学
同志社女子大学
同志社大学
東北大学
東洋大学
名古屋大学
奈良女子大学
南山大学
新潟大学
日本女子大学
日本大学
一橋大学
広島大学
福岡女子大学
防衛医科大学校
法政大学
北海道大学
明治大学
名城大学
立教大学
立命館大学
早稲田大学

漢文ジャンル別作品別題名一覧

ジャンル	作品	題名
経・礼	大戴礼記	保傅第四八
経・書	春秋左氏伝	昭公二十年
経・詩	韓詩外伝	巻七
経・四書	論語／隋書	子路篇／巻二五
	大学	経一章
史・正史	史記	巻八
	史記	巻三九
	史記	巻八七
	漢書	巻三七
	漢書	巻六四
	後漢書	巻八三
	後漢書	巻九二
	後漢書	巻一一二
	旧唐書	巻六三
	旧唐書	巻九一
	新唐書	巻二〇一
史・編年	資治通鑑	巻一九二
史・別史	十八史略	巻三
	十八史略	巻七
史・雑史	国語	巻四
	戦国策	秦巻　第二
	戦国策	秦巻　第三
	貞観政要	巻一
	貞観政要	巻二
	貞観政要	巻一〇
史・伝記	晏子春秋	巻三
	列女伝	巻二
	列女伝	巻三
史・職官	三事忠告	巻四
子・儒家	孔子家語	巻二
	孔子家語	巻四
	荀子	正論篇
	荀子	宥坐篇
	新序	巻五
	新序	巻六
	説苑	巻一
	説苑	巻五
	小学	巻六
	呻吟語	巻六
子・法家	韓非子	巻一三
	韓非子	巻三〇
	韓非子	巻三三
	韓非子	巻四〇
	韓非子	巻五二
	管子	巻一六
子・雑家	呂氏春秋	巻九
	呂氏春秋	巻一〇
	呂氏春秋	巻一九
	淮南子	巻一八
	顔氏家訓	普賢篇
	東坡志林	巻三
	石林燕語	巻五
	諸子言性	諸子言性
	池北偶談	巻二三
	艾子後語	艾子後語
	庸間斎筆記	巻一一
	能改斎漫録	巻一八
	曲洧旧聞	巻五
	履園叢話	叢話七
子・類書	五雑組	地部　一五
	山堂肆考／夢渓筆談	巻一〇九／巻一〇

分類	作者・書名	出典
子・小説家	北窓炙輠録	巻下
	西畬瑣録	西畬瑣録
	夷堅志	乙志　巻六
	広異記	檐生
	菽園雑記	巻三
	捜神記	巻一
	稽神録	巻六
	太平広記	巻三一七
	庸盦筆記	巻四
子・釈家	観世音応験記　補遺	観世音応験記　補遺
	冥祥記	冥祥記
	青瑣高議	巻一二
	堅瓠集	堅瓠五集　巻三
子・道家	列子	天瑞篇
	列子／袖中抄	楊朱第七／袖中抄
	无能子	巻下
集・詩	白居易	放旅雁
	白居易	江楼夕望招客
	白居易	別州民／甘棠
	袁枚／礼記	小雪、香亭弟贈灰鼠裘／檀弓　下
集・文	元結	漫論
	韓愈	祭田横墓文
	韓愈	韓愈文集彙校箋注
	韓愈	答陳商書
	白居易	与微之書
	白居易	与元九書
	白行簡	三夢記
	元稹	銭貨議状
	王旭	李神童伝
	欧陽脩	春秋論
	司馬光	五規・重微
	張耒	問雙海棠賦　自序
	金富軾	三国史記
	葛立方	韻語陽秋
	黄溍	敏学斎記
	宋濂	撲満説
	童冀	尚絅斎集
	王陽明	答徐成之
	王陽明	教条示龍場諸生
	徐禎卿	談藝録
	周亮工	閩小記
	劉大櫆	劉大櫆集
	張士元	嘉樹山房集
	兪樾	右台仙館筆記
集・日本漢詩文	服部南郭	大東世語
	帆足万里	鮫魚説
	東褧	鉏雨亭随筆

漢文大学一覧

愛知大学
愛媛大学
大阪市立大学
大阪大学
岡山大学
お茶の水女子大学
学習院大学
金沢大学
九州大学
熊本大学
神戸大学
國學院大学
埼玉大学
静岡大学
上智大学
センター試験
千葉大学
中央大学
筑波大学
都留文科大学
東海大学
東京学芸大学
東京大学
東北大学
名古屋大学
奈良教育大学
奈良女子大学
南山大学
新潟大学
日本大学
広島大学
福岡女子大学
法政大学
北海道大学
立教大学
立命館大学
早稲田大学